

# 平成 18 年度末の汚水処理人口普及状況について



農林水産省、国土交通省、環境省では平成 18 年度末の全国の汚水処理人口普及状況を取りまとめました。

汚水処理人口普及状況の指標とは下水道、農業集落排水施設等、浄化槽、コミュニティ・プラントの各汚水処理人口の普及状況を人口で表した指標を用いて表現しており、平成 18 年度末の整備状況から公表しています。

また、この指標の名称については、平成 14 年度までは「汚水処理施設整備率」としていましたが、平成 15 年度から「汚水処理人口普及率」と変更しています。

## ・汚水処理人口普及率は 82.4%

汚水処理施設の整備は各地方公共団体が「都道府県構想」に基づき実施しています。

平成 18 年度末の全国の汚水処理人口は前年度と比べて 186 万人増加し、1 億 468 万人となりました。これを総人口に対する割合でみた汚水処理人口普及率は、82.4%となっています。

しかし、我が国における汚水処理人口普及状況は大都市と中小市町村で大きな格差があり、特に人口 5 万人未満の市町村の汚水処理人口普及率は 65.5%にとどまっている状況です。

	平成 18 年度末	平成 17 年度末
汚水処理施設の処理人口	1 億 468 万人	1 億 282 万人
汚水処理人口普及率	82.4%	80.9%

## ・処理施設別処理人口内訳

処理人口を各処理施設別にみると、下水道によるものが 8961 万人と最も多く、次いで浄化槽の 1114 万人、農業集落排水施設等の 361 万人、コミュニティ・プラントの 32 万人でした。

	下水道	農業集落排水施設等	浄化槽	コミュニティ・プラント
処理人口(万人)	8961	361	1114	32

当社ではさまざまな汚水・処理水の分析において長年の経験と実績があります。お気軽にご質問ください。

資料 2007 年 8 月 23 日付 環境省報道発表資料

水質分析箇所 大塚卓也